



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 リンナイ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 小杉 将夫

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	187,739	1.6	20,307	△1.9	22,186	△0.5	15,206	24.6
24年3月期第3四半期	184,773	3.5	20,692	5.9	22,296	8.2	12,208	△3.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 16,246百万円 (63.5%) 24年3月期第3四半期 9,933百万円 (△9.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	309.97	—
24年3月期第3四半期	248.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	247,421	168,068	66.1
24年3月期	238,853	154,737	63.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 163,453百万円 24年3月期 150,618百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
25年3月期	—	30.00	—		
25年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	257,000	4.2	28,000	5.1	29,000	0.3	19,000	13.0	387.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	54,216,463 株	24年3月期	54,216,463 株
25年3月期3Q	5,157,865 株	24年3月期	5,157,204 株
25年3月期3Q	49,058,980 株	24年3月期3Q	49,060,032 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、震災復興を背景とした緩やかな需要回復があり、新政権による政策への期待感から円安・株高基調に推移するなど明るい兆しは見られるものの、世界経済においては、欧州における債務問題が長期化していることや中国をはじめとする新興国の成長が鈍化するなど、景気の動向は混沌とした状況が続いております。

住宅関連業界は、新設住宅着工戸数が緩やかに上昇していることに加え、節電・省エネ志向の高まりを背景とした住宅設備機器の買替えが順調に進むなど、堅調に推移しております。

このような状況のもと、当社グループは今期を初年度とする中期経営計画「ジャンプUP2014」をスタートし、環境・省エネを考えた総合熱エネルギー機器メーカーとして世界の人々の暮らしと地球環境に貢献すべく、グローバルな事業活動を展開してまいりました。販売面につきましては、国内では節電志向を背景としたガス機器市場の拡大に加え、浴室やキッチンなどのシステム化の流れに乗った高級機種の販売が好調に推移しました。一方、海外ではオーストラリアにおいて、昨年の学校向け暖房機特需に対する反動の減少を挽回するまでには至りませんでした。グループ全体の売上高は国内の販売増が牽引し増収となりました。損益面につきましては、国内を中心とする高付加価値商品の販売比率が増加し一定の利益は確保するものの、アメリカやオーストラリアでの減収による影響に加え、国内で食器洗い乾燥機の修理点検費用を計上したことにより、営業利益および経常利益は減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,877億39百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益203億7百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益221億86百万円（前年同期比0.5%減）、四半期純利益におきましては昨年に比べ投資有価証券評価損が減少したことや固定資産売却益などにより、152億6百万円（前年同期比24.6%増）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

<日本>

電力不足問題に端を発する消費者の省エネ志向の高まりを追い風にガス機器への関心が強まっている中で、テーブルコンロや給湯専用機など単機能商品から、ビルトインコンロや温水給湯暖房システムのような高度なシステム商品への切替えが順調に進んでいることに加え、ハイブリッド給湯器やレンジフードなど当社グループにおいて新しい商品群の販売が好調であることにより、売上が伸長しております。日本の売上高は1,365億99百万円（前年同期比3.8%増）となりました。また、食器洗い乾燥機の修理点検費用が利益に影響を与えているものの、高付加価値商品の販売増に支えられ、営業利益は158億15百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

<韓国>

給湯機器では、強い買替需要期を迎えたボイラー市場の好調により当社グループの販売は堅調ではあるものの、厨房機器においてテーブルコンロ市場の縮小が続く、韓国の売上高は149億70百万円（前年同期比5.4%減）となりました。一方、販促費などの経費削減効果により、営業利益は5億96百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

<アメリカ>

現地経済は回復基調にあるものの、給湯器市場においてはタンク式・タンクレス式ともに依然として低調に推移しております。当社グループとしては、市場縮小の中、タンクレス給湯器の販売は堅調であるものの、上半期の遅れを回復するまでには至らず、アメリカの売上高は81億69百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は1億84百万円（前年同期比28.9%減）となりました。

<オーストラリア>

給湯機器では、政府の主導のもと環境政策の一環として施行されている電熱貯湯式給湯器の設置規制により、ガス給湯器の売上は継続的に成長を続けております。空調機器では、昨年、学校向け暖房機の補助金制度を背景とする特需があり、上半期はその反動による減少が大きく響きました。当第3四半期は挽回を図っておりますが、上半期のマイナス分を回復しきれず、オーストラリアの売上高は109億6百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益は19億98百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

<中国>

内陸部の各都市において経済成長に伴うガスインフラの普及拡大が進むことで機器販売が伸長し、中国の売上高は81億76百万円（前年同期比4.6%増）となりました。また、原価低減活動の成果や昨年に比べ原材料価格が低下したことにより、営業利益は5億46百万円（前年同期比227.3%増）となりました。

(参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第3四半期累計期間 (平成23年4月1日 ～12月31日)		当第3四半期累計期間 (平成24年4月1日 ～12月31日)		増 減		前 期 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
給湯機器	86,316	46.7	90,445	48.2	4,129	4.8	121,028	49.1
厨房機器	61,197	33.1	60,600	32.3	△596	△1.0	78,792	31.9
空調機器	14,867	8.0	14,010	7.5	△856	△5.8	16,681	6.8
業用機器	5,201	2.8	5,221	2.8	20	0.4	6,846	2.8
その他	17,190	9.3	17,460	9.3	269	1.6	23,286	9.4
合 計	184,773	100.0	187,739	100.0	2,966	1.6	246,636	100.0

(参考2) 海外売上高

	前第3四半期累計期間 (平成23年4月1日～12月31日)			当第3四半期累計期間 (平成24年4月1日～12月31日)		
	アジア	その他の 地域	計	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	32,090	26,081	58,172	32,379	24,661	57,040
II 連結売上高 (百万円)	—	—	184,773	—	—	187,739
III 海外売上高の連結売上高に 占める割合 (%)	17.4	14.1	31.5	17.2	13.1	30.4

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ85億67百万円増加し2,474億21百万円となりました。また、負債は47億62百万円減少し793億53百万円となり、純資産は133億30百万円増加し1,680億68百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は66.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,596	38,550
受取手形及び売掛金	56,776	63,311
有価証券	35,651	31,841
商品及び製品	14,530	16,189
原材料及び貯蔵品	9,402	9,775
その他	5,803	4,111
貸倒引当金	△461	△451
流動資産合計	156,300	163,327
固定資産		
有形固定資産	43,040	40,565
無形固定資産	1,489	1,501
投資その他の資産		
投資有価証券	26,966	29,979
その他	11,476	12,475
貸倒引当金	△419	△427
投資その他の資産合計	38,023	42,027
固定資産合計	82,553	84,093
資産合計	238,853	247,421

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,895	44,884
短期借入金	4,254	2,527
未払法人税等	6,064	3,297
賞与引当金	3,131	1,119
その他の引当金	1,857	2,088
その他	13,554	13,939
流動負債合計	72,757	67,856
固定負債		
長期借入金	3,325	3,299
退職給付引当金	4,554	4,370
その他の引当金	61	38
その他	3,417	3,789
固定負債合計	11,358	11,497
負債合計	84,116	79,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,720	8,720
利益剰余金	162,014	174,375
自己株式	△23,471	△23,475
株主資本合計	153,722	166,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518	764
為替換算調整勘定	△3,622	△3,391
その他の包括利益累計額合計	△3,103	△2,626
少数株主持分	4,119	4,615
純資産合計	154,737	168,068
負債純資産合計	238,853	247,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	184,773	187,739
売上原価	127,999	130,414
売上総利益	56,773	57,325
販売費及び一般管理費	36,080	37,017
営業利益	20,692	20,307
営業外収益		
受取利息	750	636
持分法による投資利益	706	645
その他	653	900
営業外収益合計	2,111	2,183
営業外費用		
支払利息	230	191
為替差損	152	—
固定資産除却損	95	92
その他	30	20
営業外費用合計	507	304
経常利益	22,296	22,186
特別利益		
固定資産売却益	—	938
特別利益合計	—	938
特別損失		
投資有価証券評価損	1,555	158
特別損失合計	1,555	158
税金等調整前四半期純利益	20,741	22,967
法人税、住民税及び事業税	6,775	6,076
法人税等調整額	1,489	1,154
法人税等合計	8,265	7,231
少数株主損益調整前四半期純利益	12,475	15,735
少数株主利益	267	529
四半期純利益	12,208	15,206

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,475	15,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	246
為替換算調整勘定	△2,510	445
持分法適用会社に対する持分相当額	△118	△180
その他の包括利益合計	△2,541	511
四半期包括利益	9,933	16,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,844	15,683
少数株主に係る四半期包括利益	89	562

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オースト ラリア	中国	計			
売上高									
外部顧客への売上高	131,643	15,831	8,491	12,337	7,819	176,123	8,649	—	184,773
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,782	266	—	0	1,041	14,091	1,499	△15,591	—
計	144,426	16,098	8,491	12,338	8,861	190,215	10,148	△15,591	184,773
セグメント利益	15,694	452	260	2,961	166	19,535	1,080	77	20,692

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オースト ラリア	中国	計			
売上高									
外部顧客への売上高	136,599	14,970	8,169	10,906	8,176	178,822	8,916	—	187,739
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,041	341	—	16	1,108	13,507	1,710	△15,217	—
計	148,640	15,311	8,169	10,922	9,285	192,329	10,627	△15,217	187,739
セグメント利益	15,815	596	184	1,998	546	19,142	1,137	28	20,307

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。